

刊夕日六

下御一行御通過に付き、長春奉迎、
館中より御一行は六日午後一時長
春三十三丁に出發せられ、經南河
御通過し、日本に向はせらる。送迎の爲
に、東都府府役參事官吉野親總長、中村
公麿、下出迎の爲め川上瀧鐵理事一行

を渡して入抵せしめ、驛の二三等待
室には人民の出入を禁ずと、(四日東京
新聞)

▲満鐵の奉迎 露國は

克く施政の方針に順
し機宜の措置を怠らざるに
あらずばあらず畏くも 今上陛下
く朝鮮の休戚を軫念し給ひ該物産
進會の開催に方り特に陸軍大將

の効果を空うするは勿論途に
大成を期するに由なからむと
めざる一けむや

將來の
す豊戒
萬遠に
地方の平
會社の投資額は八千五百萬圓に達するより二千九百五十萬圓に達するを對照するに年額一千五百萬圓の爲し工業製品は既に五年の尙一般の商工業も一層長足のしもの今や一千二百餘萬圓の總價額舊時に於て七百萬圓

内外なり
に上れり
の進歩を
聞の首尾
五十萬圓
又商事
園より一

施すべき公立普通學校の
既往五年間に於て從前の
へて更に三百數十校を増
の進運に隨ひ高等普通教
商工業、醫藥、法律、經濟

教育機關の改善

[illegible]

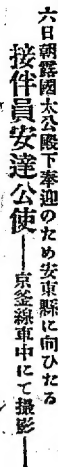
意思と穩
にせむとせば單
に足れりとせず
意思と穩
萬國内外なるべしと

大正五年年度豫算は約三
 立六日頃役員會を
 兩年度豫算は約三
 進も三進も動けぬ
 マレ

其の内の五十萬圓は、
金に換へられ、
一紙幣やなくて三
角の硬貨になるのは受合

の途上にて

聖上陛下御即位祝賀の爲め露國皇帝陛下御名代として這回御來朝遊はさるハジョールジュ、ミハイロウイツチ大公陛下は現露國の皇族中最高位の御方で居らせられる



られ御歳五十二歳、陸軍大將高架玄
大本營の最高軍事顧問たる要職に

義倫の御愛好深き處からベトログラード博物館長をなされ
疾に古錢蒐集家としては世界に於て伊太利皇帝陛下と並び稱せらるる
方である。又知照せられたるは帝國皇陛下の御妹君に當られ今から三十年前
佛國に於て御結婚せられたのであるが、方には滑山に於て、陛下から
斯く露國皇室中の最高位に居らるる方と云はれた這回、鐵路數千
里、遠く西比利亞の嚴冬を經て御來朝遊ばさるゝ事は、實に露國皇帝陛
下の特別の恩恵に出でた事と恐察さるゝ譯であるが、又、現下日露御
善の楔子と成らせらるゝ事であらう、陛下這回の御來朝たる
や與に明治三十九年四月大英皇皇帝陛下より、先帝陛下に對しガアデー
勳章を贈呈遊ばされし際のコンノウト殿下の御來朝にも
比すべき事であつて

日本國民に對し非常な僉

へる事は勿論のものであるが實に明治二十八年十月莫斯科に於て舉げられたる現皇帝の戴冠式には、先帝陛下から特に伏見元帥宮殿下を御賓客として、はしになり隨行員には山縣元帥が選ばれた事もあるので追回はこれと同様に意味に於て御即位祝賀の爲めに御來朝遊ばさるゝ次第である、陛下は特に哈爾濱より南滿洲、朝鮮を経て七月夜、釜山港を奏迎の軍艦船にて内地に向はるゝ御豫定である、途中瀬戸内海の風光は特に殿下の御旅情を慰め申し上ぐる爲めに軍艦を徐行させ十一日午後瀬戸御上陸、十二日朝東京御着の豫定である、東京に於ける御禮は正式の御資格を以て五六日間の御滞在と思ふが此の事に就いては我が皇室及び

東京に電報する積りである、其の他地方の御

古風 奈良等を併せて十二三日間の御微行を遊ばさるる事
と思ふが此時は勿論正式で無いのだから儀仗兵なども俱奉申し上げや御
旅館などの御聖名にも彼地の例により高架索伯などご御記し
遊ばさるゝ事であらう、而して一月末か二月初旬か本邦を去ら
るゝ筈である又陛下に御入京の際は我が 聖上陛下に於か
せられては特に大元帥陛下の御正装にて東京驛
に御出迎ひ遊ばされ其の後宮中に於て御調待の御宴を開かせら

重の君采き爰こても此田こそ所年このひ せんねん力して以て丰島發遣のりよく ちつて はんしやうはつたつ

の御宴を催せ給ふと承る五日の午後三時半、寺内總管は龍山官邸にて賓民三百餘名を招きて

■盛大なる新年宴會

を催し、打絶て三年間此事なかりしと、且つは従來官民親睦の階級に依り固々別々の日に開かれしものを、特に本年は事務多端のため同じ日同じ時に催したるより盛大と言ふばかりなし、午後二時四十五分總管は

■自動車にて先着し

旨に奉答するを得、大慶之に加之をなし、昨年の共進會の開催に際し、今後朝鮮の開發を策励し、官民一致協同の力に待つべきもの多々たるを、あるべきを慨す、此の意味を諷して、既に準備萬端不十分ながら十分歡を盡されん事を望むと趣を下し、其より立食の宴を開きたるが、此時露太公殿下御用迎の連に、ある安達公使も來會し、宴史にして

■季完用伯は壇上に

貴族、會社重役、
學校組合、商

業會議所議員 新
聞通信社長等陸續
來著し階下の
控室にて少憩の後
三時三十分大食堂
に入る。開宴は先
立も寺内總督は
■一場の挨拶を爲し
て曰く
本日お逢ひは喜



露西亞と特殊の關係があり、又侍從武官長内山大將は、
代に公使館附武官として露國に在り、後再び少將に陞

在た人で露西亞は極て關係の深い人である。又寺内大將が此接伴員を仰せつけられた事に就いて東京駐劄露國大使マレヴィイツ氏の自分から語らるる所によれば道同ミハイロウィツ子爵下の接伴員として日本皇帝陛下が特に日本第一流の優逸なる政事家寺内伯を擧げられたといふ事は我が露國皇帝陛下は素より我々露國々民一同の非常に感銘深き事であるとの言葉であつた。又曰ひ分も此の光榮ある接伴員を仰せ付かつた事を非常に悦んで居るが自分から見て日露戰役中捕虜營場所所定官となり又糧秣の際には小村大使と共に渡米したともあり其後日露間の通商航海條約、漁業條約、鐵道條約其他條約の起草立案官として露國の大經章を拜受し又旅順赤十字病院の交還條約の起草立案官として露國の大經章を拜受し又旅順赤十字病院の交還

東京では市民の大歓迎を行ふ筈であ

東京相撲新番附發表

新東の方 錦 小結 玉手山 新西の方
大關 大 黄村 鳳

同同同同同同同同同同同同同同同同小關大橋
頭結腸網綱

宮朝源字龍大爲四紫岩九響小兩匠綾對西
城氏部ケの門海雲木州^通常木馬の

岸山綠山宮崎川洋波龍山山嶽陸國山川洋海

同同同同同同同同同同同同同同同同前節小關大橋
頭結腸網綱

岩大小玉梅小響紫龍字近四柄對大兩西梅
木^野ケ^常雲ケ^都江海木馬^ケの

山川崎椿川壁綠龍崎宮土波山川洋錦國海

同同同同同同同同同同同同同同同同小關大橋
頭結腸網綱

玉鶴入教留其千土石綾黑大浦金大玉朝太
甲の砂年州瀬鳴の蛇手刀

橋渡山穂石山川山浪川門濱花瀧山潮山

同同同同同同同同同同同同同同同同小關大橋
頭結腸網綱

菊陣小鶴櫻宿真千土黒大太綾金綾浦伊太
瀧の砂年州瀬鳴蛇の蛇刀

川幕竊渡川穂石山川川門瀧花川濱波山

前頭	新幕下	同頭
前頭	梅川	前頭
前頭	前頭	前頭
前頭	寒玉子	前頭
前頭	新幕下	前頭
前頭	櫻下	前頭

同同同同同同同同同同同同同同同同
平王藤朝鳴國國四琴駒明羽男小
の ク日瀬ケ見國ケ 藻
石柳谷山山岩嶺洋浦泉 川島錦
同同同同同同同同同同同同同同同同
國白御藤大大小男明琴駒源佐逆
ケ 舟の國門金 ケ 氏賀
岩岩海川洋岩石島 浦泉山海鈴
同同同同同同同同同同同同同同同同
佐太荒入黒高藤一千稻常玉紅敷
賀刀 幡 千の 葉葉の葉
海升角山越穂川陸崎嶽花川川島
同同同同同同同同同同同同同同同同
浪常千立雲戎紅敷玉稻排宮平
の葉 葉 葉 城の
泉花崎汐龍洋川島柳嶽越林山石

家の美舉

二樂莊の保管
鮮總督府に寄附
六甲山二樂莊は富家
原家に引受け一切自費を以て維
一箇人の爲め使山せむ

に要する一切の費用は

久原家にて曲眼を定め互相
文出す可く同師強敵の場合には是非
樂莊に滞在せらるゝことを希望し
際には於ける居住費は久原家にて負
すると成れり二樂莊陳列
發掘物は朝鮮總督府
寄附し博物館に陳列す

の氣溫は各地を通じて平均二年よ

如きは平年より十五度も高温を示
 景仁地方は平年より十一度位の高
 であつた昨年十二月冬季に入つて
 來平年に比べ概して高温を持續し
 のたが平年元日の氣温が野にも平
 大を元日した事は恐ろしく季に入
 依りの様に思ふ何時も大季に入る
 亞細亞大陸に勢力なる前氣壓が発
 して一所に固定し其一端が滿洲方
 に及んでゐる其爲め朝鮮を低氣壓

氣壓が出現せしむに優力なる固定

●愛婦會新年會

國婦人會朝鮮本部にては例年の如く、
七日午後一時三十分より京城ホテル
に新年名刺交換會を催す筈に、電
の餘興あり、會員中出席希望者
は朝鮮本部へ申込を可しと

百は徳川天一坊大序より
 捕まで切吃 又將監住家

[illegible]

帝國會
在鄉軍人會
京城分會

龍憲兵隊長
警務部長
合ニ依リ日時及場所ヲ
ノ通り變更ス
日時 一月八日午後六
場所 南山町京城ホテ

各種専門學校入學試験期日切迫に
至急申入るべし

敬師は多年内地中學校教授経験
する者
京成府堅志例四十六番地中央市現
各學校豫備講習所
入學試験

...

謹賀
新年
石基
改良し上等白石
厚さ三石に厚し
離れず接合に入り
難く接合に入り
用命す黒石は那摩
命す黒石は那摩
大坂市東區橋本
見本送附は御参二銭を要す
八千代製石販賣

大陽
方
婦
人
科
天
信

X 放射線科
 ラジウム科
 電話本局 一九八四
 一九八五
 指定産婦教育所
 産婆生徒
 本科随時入学
 テレチン油、テール油
 木村助

全精製ニール夕ニル

意匠
 大坂 名古屋
 全ベンザール
 カストル油、牛脂
 桃印、菊印、
 洋印、鈴印
 ボイル油
 其他諸油、脂塗料類

訂正廣告
五日掲載ちよふや半解
日廣告中當籤日第二回
十二月十七日とあるは
最終當籤日は十二
二月三十日の誤に
に付き訂正す

定期米買賣之類無作
前金注文は納付を要す
大阪市文庫局通過ニ
大阪堂島米穀取引所仲
入江商社
電話 長二六五
二六五

消化と
 喜びし
 仁丹
 お正月の
 宴会、旅行、
 観劇、寄席行に
 仁丹飲んで
 愉快く！

第九十二席 早川貞水口演

此折柄本多三彌、同く伊織の

A black and white woodblock-style illustration of a man in a white robe lying on a patterned rug on a wooden floor. He is looking up with an open mouth, possibly in shock or pain. A long, thin object, resembling a sword or a staff, lies on the floor near his head. The background shows a wooden railing and a window with vertical bars.

[illegible][illegible]

女學世界

世の中 變遷 磯千鳥
 尊むべき婦人の實 永井博士
 製作の前の苦心談 伊藤小坡
 御殿奉公卅年の苦樂 一老女
 新年の女の日記 上小劍
 御女松江の最期 晚雪木蘭
 烈女 不覺の涙 女記者
 家出した少女の告白 源風吟
 廿五年前の女學生と現代女流作家
 選擇を誤つた結婚の悔 くら
 實の親は在りませう
 迷ひ得ぬ娘の辛さ
 新小燈 暗潮
 年淡き歎 毒蛇
 新小燈 暗潮
 年淡き歎 毒蛇
 新小燈 暗潮
 年淡き歎 毒蛇

淑女畫報

新愉快
 戲小
 年火祭
 附友春
 錄重の
 忠告
 大石

中學世界

青年と立憲思想 浮田博士
 蒙古股來…………… 瓜振博士
 雁取騒動 翁快小 江見水陸
新時代の特徵 博士
 明星技手と彼と(野暮小説)
 陸奥宗光 外史題 伊藤羅維達
學問の常識を涵養せよ 一本
 上内相

新附錄
 出奔する前の先生の咳(鐵城鐵人)
 風景畫事件 初諫言
 苦學兄弟
 船上の猛虎狩

冒險世界

怪傑妖婦傳
明治以降の怪傑
 ●淀君……精進軒伯知 ●全印度を組つたクライウ
 ●原田甲斐……一龍齋貞山 ●毒牙に死せる妖艶の女王
 ●南阿蘇人 ●金剛石王 ●セシル・ロリーツ ●其の逸話
 ●棄放なる燕人張飛……●海の怪船高田屋嘉兵衛……
 ●現代日本一競べ……●妖婦としての新しい人々……
獨帝は何て豪くなつた乎
 ……ジロケイフ マツケイブ
 城東聖士談 阿武天竺士談
 大綱 (櫻彩)

英 語 世 界

新年
 特別
 讀物

新年のお伽噺
 新年の手紙
 新年の回想
 新年の日記
 新年ふしの文句
 新年の贈物

東京
 本町

實業
 全國

傳

り限に(大増)號本
五二郵 錢十三
厘錢稅 錢十二 號通
錢二稅郵 錢十二 號通
十八 冊四 (共稅郵)金
錢一十六圓一 冊八・錢

水長篇 （小説）	影樂醒	德田秋聲
……	田村俊子	
……	尾崎恒子	
……	木村駒子	
……	尾島菊子	
……	内藤千代	

り限に(大増)號本
五三郵 錢十四 定價
風錢稅 錢二稅郵 錢五廿 號通普
圓一冊四(共稅郵)金前
也四二冊五。錢五零

[illegible]

(b 通號通普)

二 鄧 錢 十 二 定 價
錢 稅 銀 四 共 稅 鄧 金 前
十八 冊 四 共 稅 鄧 金 前
銀 一 十 六 冊 一 鄧 稅 鄧

現代滑稽 苗太郎
怪談實話 磯萍次
滑稽武勇 佐々木幸
探偵奇聞 速水三郎
歷史小說 半井桃水
立志小說 黒田湖山
冒險實譚 竹葉直人

り限に(大倍)號本
三錢稅 錢十三 定價
半倍一稅 錢五十 雙通普
十六 冊四 (共稅部)金前
錢十二 冊一 稅二 錢三

年附錄
芥戰爭
ハむさし
阿武天風
森田太三郎

り限に(大倍)號本
五一郵 錢十二 定價
風錢稅 錢十 號通替
國一稅郵 錢四 冊四 (共稅郵)金前
十四 冊四 (共稅郵)金前

各地書肆
文館

美 顔 水

都會の婦人と垢ヌケ

▲垢又ケする
 の人は一般に山家育ちの人より垢マケしてゐる。ケして居るからこゝろ都育ちの人は美しい。此「垢マケ」が無かつたら目鼻立などでは那處に背く。

だといふ事がお分りになりませう。

所で垢メタするのには、皮膚の新陳代謝しんしんたいたいと言つて、
皮を、新しい美しい表皮ひふに交代こうたいへる、元來皮膚に其つ
を一層活潑きふたつにさせるのが第一ですが、其作用を極めて

者が發見した新しい美容薬を原料に加へてから、美
 一層強くなつたので有名です。ですから美顔水を一
 めず、朝夕顔けて使つてさへ被居れば、垢マケした
 さられるので、上中流御家庭の御費用が益々度す

表に同じお化粧でも、ヤボな田舎臭いお化粧さ、
ヨクして如何にも氣持よく美しいお化粧があるもので
用美顔水で白粉を溶いて附ければ、白粉のノリやノド
くなり思ふ儘美しいお化粧が出来、殊に其化粧垢がユ

られて居ります。
 ▲絶對にアしを防ぐには……
 美顔水には精氣無しに皮膚のアレを防ぐ程らしい感
 りますから冬は殊に重寶です。

又ニキビや吹出物を治すのには別に「ニキビ
こり美漢」
ありますから其れをお薦めします。



京城日報

刊朝日七
(號二十九百九千二第)
本報創刊於明治二十九年(一九九六年)一月七日。發行所：東京市丸の内區。電話：三三三三。代印所：東京市丸の内區。電話：三三三三。印刷所：東京市丸の内區。電話：三三三三。

平和克復後の思想

總督府醫院長 芳澤

平和克復後の思想。これは、戦後世界の趨勢を考察する上で、最も重要な問題である。戦前は、国家間の競争が、武力によるものであった。戦後は、国家間の競争が、経済力によるものとなる。この変化は、人類の進歩に大きな影響を及ぼす。平和克復後の思想は、この変化を認識し、人類の幸福のために努力することである。

支那の鐵道

支那の鐵道(三)

支那の鐵道。これは、支那の経済発展に大きな影響を及ぼす。鐵道の建設は、支那の交通を便利にし、貿易を促進する。また、鐵道の建設は、支那の産業革命を促進する。支那の鐵道は、支那の未来を決定する重要な要素である。

簿記募集

簿記募集

簿記募集。これは、簿記の勉強をしたい人々を募集する。簿記は、商業の基礎となる重要な技術である。簿記の勉強は、商業の世界で成功するために不可欠である。簿記募集は、簿記の勉強をしたい人々にとって、絶好の機会である。

歐戰事實記

歐戰事實記。これは、第一次世界大戦の事実を記述する。第一次世界大戦は、人類の歴史に大きな影響を及ぼした。欧戰事實記は、第一次世界大戦の事実を詳しく記述し、人類の歴史に貢献する。

新俳諧講義録

新俳諧講義録。これは、俳諧の講義録である。俳諧は、日本の伝統的な文学形式である。新俳諧講義録は、俳諧の講義録として、俳諧の魅力を伝える。

新目録

新目録。これは、新目録である。新目録は、最新の情報を提供する。新目録は、最新の情報を提供する。新目録は、最新の情報を提供する。

新戦術

新戦術。これは、新戦術である。新戦術は、最新の戦術を提供する。新戦術は、最新の戦術を提供する。新戦術は、最新の戦術を提供する。

最新式

最新式。これは、最新式である。最新式は、最新の技術を提供する。最新式は、最新の技術を提供する。最新式は、最新の技術を提供する。

簿記募集

簿記募集。これは、簿記の勉強をしたい人々を募集する。簿記は、商業の基礎となる重要な技術である。簿記の勉強は、商業の世界で成功するために不可欠である。簿記募集は、簿記の勉強をしたい人々にとって、絶好の機会である。

歐戰事實記

歐戰事實記。これは、第一次世界大戦の事実を記述する。第一次世界大戦は、人類の歴史に大きな影響を及ぼした。欧戰事實記は、第一次世界大戦の事実を詳しく記述し、人類の歴史に貢献する。

人生鳥

人生鳥。これは、人生鳥である。人生鳥は、人生の道を指し示す。人生鳥は、人生の道を指し示す。人生鳥は、人生の道を指し示す。

学生

学生。これは、学生である。学生は、知識を学ぶ。学生は、知識を学ぶ。学生は、知識を学ぶ。

店頭裝飾圖案

店頭裝飾圖案。これは、店頭裝飾圖案である。店頭裝飾圖案は、店の装飾を美しくする。店頭裝飾圖案は、店の装飾を美しくする。店頭裝飾圖案は、店の装飾を美しくする。

廣告の工夫號

廣告の工夫號。これは、廣告の工夫號である。廣告の工夫號は、廣告の効果を高める。廣告の工夫號は、廣告の効果を高める。廣告の工夫號は、廣告の効果を高める。

中等英語

中等英語。これは、中等英語である。中等英語は、英語の勉強をサポートする。中等英語は、英語の勉強をサポートする。中等英語は、英語の勉強をサポートする。

英語研究

英語研究。これは、英語研究である。英語研究は、英語の勉強をサポートする。英語研究は、英語の勉強をサポートする。英語研究は、英語の勉強をサポートする。

以上將軍か齋臘吐血したるは咽
部の出血にてその後何の異狀もな

物の受入總計は百二十萬五千にして
其中二十九日までの年賀狀特別取扱

會社に於ては客年十月卅一日附を以て假連輸の認可ありたるも其後線路

の
水底に葬むられ郵船は喜望峯回航に決定するに至れるが鐵材機械類の

の形勢如何によつては大なる逆襲を見ずとも測られざるべし(大阪支店報)

東京博文
附錄 農年中行事 (四十頁)
△其他農事關係者必讀記事を掲載せり△
賣捌 全國各

增郵稅船西
大二錢一十
十八錢一

不足額二十萬圓を超過するに達した。... 奉天遊民收容計



子羽追

興味深き朝鮮の新年

面白く朝鮮人の傳説のかずく

赤色の福系を

買ひ付け、内房の壁に掛けて置く。...

東向の桃の枝

を採りて大の鏡を懸ける。...

煙火に火を點

し野外に出て「鼠の火」と大聲を...

其の女が便所

に行くとあらば、訪を受けた家...

東西批評

精鋭揃ひの東方 綾川朝潮の勝負

番附解剖

綾川が東に玉手 山が西に戻つた

雲山金礦の椿事

坑夫十三名、二百尺の坑内に墜落す

不敵なる獨逸俘虜

九龍廣東鐵道破壞の計畫

爆弾列車内に破裂

鐵道警察の捕縛、守衛兵の急驅

雲山金礦の椿事

坑夫十三名、二百尺の坑内に墜落す

雲山金礦の椿事

坑夫十三名、二百尺の坑内に墜落す

不敵なる獨逸俘虜

九龍廣東鐵道破壞の計畫

爆弾列車内に破裂

鐵道警察の捕縛、守衛兵の急驅

雲山金礦の椿事

坑夫十三名、二百尺の坑内に墜落す

不敵なる獨逸俘虜

九龍廣東鐵道破壞の計畫

爆弾列車内に破裂

鐵道警察の捕縛、守衛兵の急驅

雲山金礦の椿事

坑夫十三名、二百尺の坑内に墜落す

不敵なる獨逸俘虜

九龍廣東鐵道破壞の計畫

雲山金礦の椿事

坑夫十三名、二百尺の坑内に墜落す

不敵なる獨逸俘虜

九龍廣東鐵道破壞の計畫

爆弾列車内に破裂

鐵道警察の捕縛、守衛兵の急驅

雲山金礦の椿事

坑夫十三名、二百尺の坑内に墜落す

不敵なる獨逸俘虜

九龍廣東鐵道破壞の計畫

爆弾列車内に破裂

鐵道警察の捕縛、守衛兵の急驅

雲山金礦の椿事

坑夫十三名、二百尺の坑内に墜落す

不敵なる獨逸俘虜

九龍廣東鐵道破壞の計畫

六大景品

正銀時計、金銀首飾、名品揃ひ

正月の胃

胃腸の健康を維持する良薬

京日案内

東京の主要施設、交通機関の案内

新年の祝賀

各種新年会、宴会の案内

樂を爲し隨工其技藝の熟なる者、其事となれるが市中一般に始より氣のせざると餘りに度の重なるに厭


朝鮮郵船
 本社 電話一九五三・三三三三
 支店 出島 電話二五三三・三三三三
 支店 釜山 電話二五三三・三三三三
 支店 大邱 電話二五三三・三三三三
 支店 蔚山 電話二五三三・三三三三
 支店 大田 電話二五三三・三三三三
 支店 光州 電話二五三三・三三三三
 支店 全州 電話二五三三・三三三三
 支店 春川 電話二五三三・三三三三
 支店 江華 電話二五三三・三三三三
 支店 仁川 電話二五三三・三三三三
 支店 大邱 電話二五三三・三三三三
 支店 蔚山 電話二五三三・三三三三
 支店 大田 電話二五三三・三三三三
 支店 光州 電話二五三三・三三三三
 支店 全州 電話二五三三・三三三三
 支店 春川 電話二五三三・三三三三
 支店 江華 電話二五三三・三三三三
 支店 仁川 電話二五三三・三三三三

全 京 黃 威	榮 隆 茂 隆	昌 平 城	忠 平 濟
九九九	九九九	九九九	九九九
月 月 月	月 月 月	月 月 月	月 月 月
廿 三 三	廿 三 三	廿 三 三	廿 三 三
日 日 日	日 日 日	日 日 日	日 日 日
釜 山 發	釜 山 發	釜 山 發	釜 山 發
松 原 運 送 店	松 原 運 送 店	松 原 運 送 店	松 原 運 送 店
元 山 發	元 山 發	元 山 發	元 山 發

永興丸	北興丸	嘉島丸	江陽丸	三浦丸	海州丸	天丸
三月廿八回	三月廿八回	一月九日	二月廿五日	一月九日	二月廿五日	三月廿一日
元山發	元山發	釜山發	釜山發	釜山發	釜山發	木浦發

[illegible][illegible]

○溫州智丸	一月十三日午後出帆
○安山丸	一月十三日午後出帆 <small>(「鹿頭廻」測、寄港)</small>
×本浦・釜山・大連行	一月十七日午後二帆
○城津丸	一月十八日午後二帆
○安東丸	一月十三日午後二帆
○本浦・大連行	一月一日正午出帆
○群島北戸丸	一月九日午後五時出帆
○油頭丸	一月九日午後五時出帆

安新 平丸	上海 丸	神地 宮丸	地宮丸	○潮州 丸	○大連 丸	○潮州 丸	○神戶 丸
一月十七日	一月十六日	一月十七日	一月十九日	一月廿一日	一月廿一日	一月廿六日	一月廿七日
午前四時	午前四時	午後二時	午後二時	正午出帆	正午出帆	午後四時	午後四時

仁川切符發賣所 大阪商船會社支店
電話 二二五二〇 五五五〇
京阪切符發賣所 內國通運會社支店
中國通運會社各銀行總行、各地方支店、
發賣仕切

